

日本共産党市議団の一般質問

トイレの男女格差解消と洋式化を



佐々木とも子市議

佐々木とも子市議は、玉川学園地域で実証実験が始まった、福祉車両の空き時間を活用した新しい支え合い交通への継続的支援を求めました。部長は補助金の継続と、2023年度から「支え合い交通連絡会」の開催を予定しているとしました。公共施設の男女のトイレ格差については、女性や高齢者が快適に利用できるよう洋式化を進め、災害時の避難施設でも女性のトイレを多くするよう運用で決めていると答弁。特別障害者手当の周知については、ケアマネ連絡会の研修テーマに組み入れるなど市内連携を図りながら、きちんと申請につながるようにすると答えました。

マイナカード保険証義務付けは中止に



細野りゅう子市議

細野りゅう子市議は、紐づけ誤りや本人確認不能などの問題が相次ぐマイナカードについて状況を質問。町田市は発生していないが、市民の問い合わせが多いことを答弁。不安が広がるマイナ保険証義務付けを改めるよう求めることを求めました。また、学校統廃合に伴う学校整備にPFI(民間資本活用)手法導入について質問し、学校施設貸し出しや修繕などの用務、給食調理などの業務も民間企業主導で行うことが答弁されました。企業利益優先で学校施設が活用されることになり。引き続き追及していきます。

自転車用ヘルメット購入費補助を検討



田中美穂市議

田中美穂市議は、4月から自転車に乗る全ての人がかぶることが努力義務となったことについて、市に購入費の補助を行うよう求めました。榎本副市長から、都の予算も活用して検討すると前向きな答弁がありました。「隠れ教育費」の一つとして挙げられる小学校のランドセルは平均購入価格が5万8千円。安価で軽い布製のランドセル型リュックの利用も可能ということを知することを求めました。指導室長が、ランドセルでないといけないう決まりはない、家庭の判断で選べるということがわかるように各学校で説明すると答弁しました。

芹ヶ谷の自然壊し、美術館改変計画は市民参加で再検討を!



殿村健一市議

殿村健一市議は、都市計画道路3・4・11号延伸事業について質問。原町田大通りを町田街道から高ヶ坂の都市計画道路3・3・36号までの520m、幅員41～25mを整備し、芹ヶ谷公園に橋を架ける計画です。殿村市議は、関係権利者や周辺住民の声をしっかりと受け止め、土地の「収用」ではなく、理解を前提にした丁寧な対応を要求。道路構造は、モノレール整備を前提と答弁。原町田大通り滞留空間等整備は、事業により沿道ビルの営業に悪影響を与えないよう関係者と協議するよう求め、部長は、そうすると答えました。芹ヶ谷公園パークミュージアム「一体的整備」計画は、(仮称)国際工芸美術館及びアート体験棟等の工事費は43億円、公園2・3期とEV工事費は21億円。伐採樹木800本(中高木350本)、掘削土量2万5千m³、土盛必要量9千m³であると答弁。多額の税金投入で芹ヶ谷公園の自然を壊し、版画美術館を改変する計画は市民参加で再検討すべきと求めました。

不登校生徒の居場所予算化

切実な声届け実現

6月補正予算では、日本共産党が一般質問等で取り上げてきた市民要望の施策が実現。不登校生徒が学校内で学習や相談を受けられる「校内教育支援センター」が中学校4校のモデル事業として実施されます。物価高騰による食材費の値上げ分を保護者負担にせず、質を維持するために小中学校、保育園、幼稚園に食材費等を補助する予算も盛り込まれました。また、治療に伴う外見の変化に対する悩みを抱えるがん患者への支援(医療用ウィッグ、胸部補正具)について上限2万円を補助する制度が始まりました。(詳細はQRコードからご覧ください。)引き続き、みなさんの願い実現に頑張ります。



請願や意見書に対する各会派の態度

請願・意見書	共産党	日本クラブ	公明党	自民党	町田選ばれる	無所属	諸派	結果
インボイス制度の導入延期を政府に求める請願	◎	△	×	×	×	△	△	不採択
自衛隊への個人情報提供を希望しない市民のための除外申請手続き設立を求める請願	◎	△	×	×	×	×	△	不採択
公立小中学校の給食費無償化を求める請願	◎	×	×	×	×	○	△	不採択
鶴川第三小学校の統廃合計画の見直しを求める請願	◎	×	×	×	×	○	△	不採択
芹ヶ谷公園「芸術の杜」パークミュージアム推進事業について(仮称)公園案内棟/喫茶/工房・アート体験棟について協議する場を求める請願	◎	△	×	×	×	○	△	不採択
マイナ保険証トラブルの全容解明と現行保険証の存続を求める意見書	◎	○	×	×	×	○	△	否決
都立学校の小中学生に対し給食無償化を求める意見書	◎	△	×	×	×	○	△	否決
生活保護の夏季加算の制度化を早急に求める意見書	◎	○	×	×	×	△	△	否決
児童手当の財源として扶養控除の縮小、廃止をしないよう求める意見書	◎	○	×	×	×	△	△	否決

請願 ◎共産党が紹介議員になったもの ○全員賛成 △一部賛成 ×全員反対
意見書 ◎提出会派 ○全員賛成 △一部賛成 ×全員反対

無料法律相談

どうぞお気軽に

8月9日(水)・23日(水)・
9月13日(水)・27日(水) 午後2時～5時

要予約 ☎042-723-6312まで

町田市役所3階 共産党会派室

※場所が変更される場合がありますので、必ずご予約ください。

生活相談はいつでもお受けします
042-724-4030 日本共産党会派室